

概要版

# 会社説明会



北陸電力株式会社

2006年5月15日(月)

# 目 次

2005年度決算概要  
2006年度収支見通し

「北陸電力グループの羅針盤(クオ バディス)2010」

- 達成プラン2006 -

安全・安定供給の万全なる確保

販売拡大に向けた取組み

料金値下げへの対応

経営目標・今後の資本政策

決算詳細説明

# 2005年度決算概要

## 2006年度収支見通し

## 2005年度決算の概要（連結）

(億kWh,億円,%)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
販売電力量	279.7	268.7	11.0	104.1
売上高	4,808	4,709	99	102.1
経常収益	4,840	4,737	102	102.2
経常費用	4,524	4,346	177	104.1
(営業利益)	(551)	(705)	(154)	(78.2)
経常利益	315	391	75	80.6
当期純利益	199	251	51	79.3
[EPS]	[91円/株]	[114円/株]	[23円/株]	[80.0]

<連結対象会社数>

- ・子会社11社
- ・持分法適用会社3社

## 販売電力量

(億kWh,%)

		2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)	
需要以外	特定規模	電 灯	75.1	71.5	3.6	104.9
		電 力	17.2	17.2	0.0	100.2
		電灯電力計	92.3	88.7	3.6	104.0
需要	特定規模	業 務 用	50.2	48.0	2.2	104.7
		産 業 用	137.2	132.0	5.2	103.9
		特定規模需要計	187.4	180.0	7.4	104.1
販売電力量合計		279.7	268.7	11.0	104.1	

2005年4月以降の特定規模需要区分に集約し直して表示

(再掲)大口電力	106.7	101.5	5.2	105.1
----------	-------	-------	-----	-------

## 大口電力 主要産業別状況

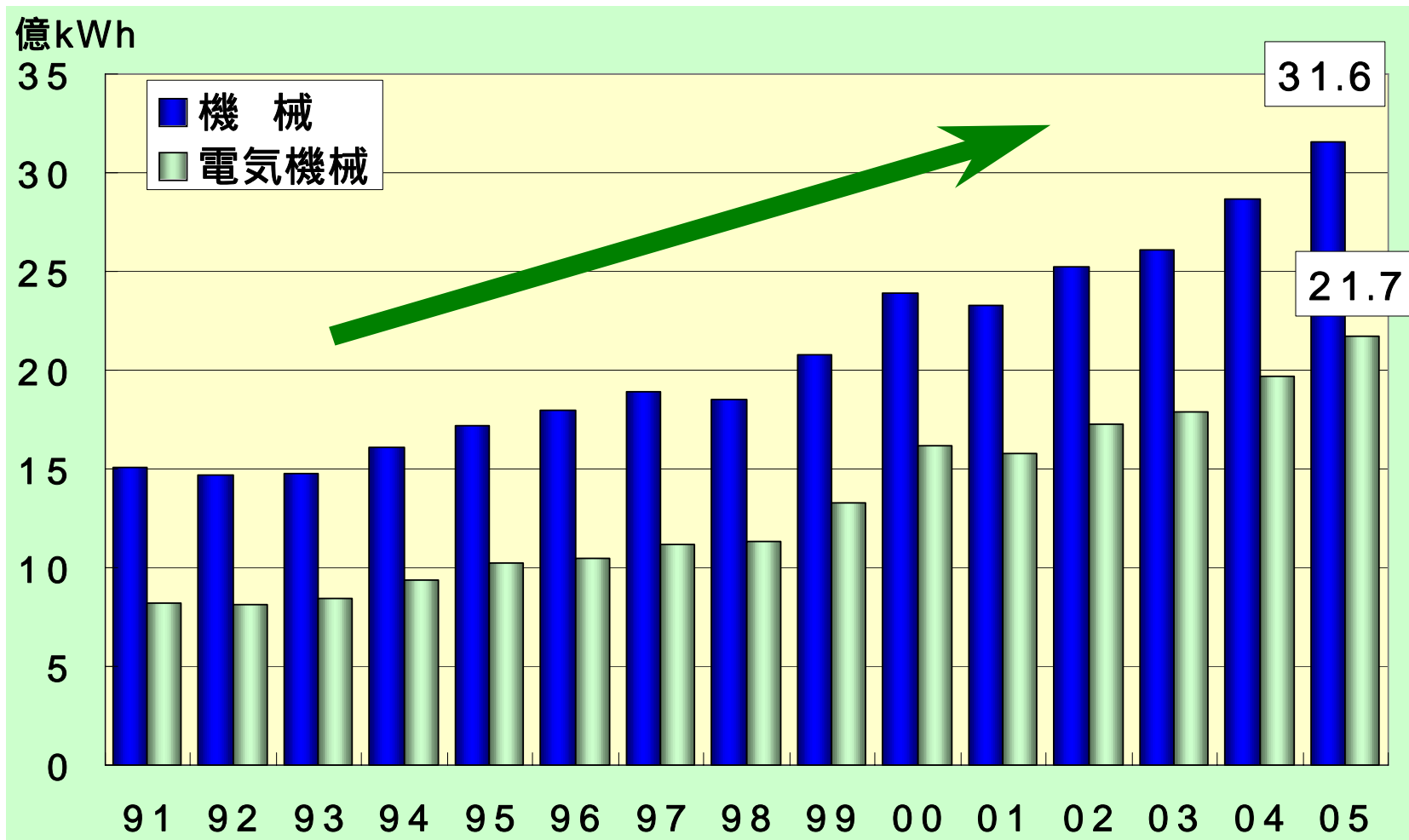
- 機械や鉄鋼が高い伸びとなったことなどから，大口電力全体で対前年伸び率5.1%の増加

(億kWh,%)

		2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
大口電力計		106.7	101.5	5.2	105.1
主要産業	織 維	8.6	8.9	0.3	96.3
	化 学	14.0	13.2	0.8	105.8
	鉄 鋼	8.4	7.6	0.8	111.1
	機 械	31.6	28.7	2.9	110.3
	(うち電気機械)	(21.7)	(19.7)	(2.0)	(110.1)
	金属製品	7.8	7.6	0.2	102.3

## 大口電力 機械製造業の推移

- 機械全体で対前年伸び率10.3%の増加
- 特に，半導体関連製品を中心に電気機械が高い伸び



## 2006年度収支見通し（連結）

(億kWh,億円)

	2006年度 予 想(A)	2005年度 実 績(B)	増 減 (A)-(B)
販売電力量	272 程度 (97%程度)	279.7 (104.1%)	8 程度
売 上 高	4,900 程度 (102%程度)	4,808 (102.1%)	90 程度
営業利益	650 程度 (118%程度)	551 (78.2%)	100 程度
経常利益	400 程度 (127%程度)	315 (80.6%)	85 程度
当期純利益 [EPS]	240 程度 (120%程度) [112円/株程度]	199 (79.3%) [91円/株]	40 程度 [21円/株程度]

\* ( )内は前年度対比

売 上 高：電気料金値下げの影響はあるが、融通送電量増加により増収の見込み

経常利益：発電所の定検台数増加による修繕費増や燃料単価上昇影響はあるが、

減価償却費の減少や志賀2号機による燃料メリットにより、増益の見込み



# 「北陸電力グループの羅針盤 (クオ バディス)2010」

- 達成プラン2006 -

## 「北陸電力グループの羅針盤(クオ バディス)2010」

### 経営の基本方針・重点方策

#### ・社会的責任を果たし，信頼を高める

- 「安全・安定供給」の万全なる確保
- 「環境先進企業」への積極的な取り組み
- 「活力と信頼感ある企業」の実現

#### ・競争力を培い，企業価値を高める

- 「販売力ナンバー・ワン」への挑戦
- 「コスト競争力のトップランナー」の追求
- 「グループ連携の強化」による総合力の向上



2006年度は，「クオ バディス」の実質元年

「クオ バディス」実現のための取組みを  
軌道に乗せる重要な年

## 「『クオ バディ ス 2 0 1 0 』 達成 プ ラ ン 2 0 0 6 」

### 安全・安定供給の万全なる確保

志賀原子力の安全・安定運転の徹底  
電力の安定供給確保に向けた対応強化

### 販売拡大に向けた取組み

「販売力ナンバーワン」への挑戦  
エコキュートを中心に据えた  
オール電化住宅の普及拡大  
個別提案型技術営業の強化・充実



### 料金値下げへの対応

値下げにあたっての経営環境の見極め

### 経営目標・今後の資本政策

利益・財務改善目標2006年度見通し  
キャッシュフロー配分

# 安全・安定供給の万全なる確保

## 「安全・安定供給」の万全なる確保

### ➤ 志賀原子力の安全・安定運転の徹底

- ➡ 品質マネジメントシステムの継続的改善
- ➡ 2プラント体制のもと「原子力推進本部」を新たに設置
- ➡ ウラン燃料リサイクル実施に向けた取組みの推進

### ➤ 電力の安定供給確保に向けた対応強化

- ➡ 系統信頼度対策の推進
  - ・ 能登幹線復旧工事の確実な実施
  - ・ 送配電線雪害・雷害対策の実施
- ➡ 技術力向上と設備保全強化
  - ・ 現場技術力継承，必要技術力向上に向けた技術力マップの作成
- ➡ 非常時に備えた防災訓練の実施

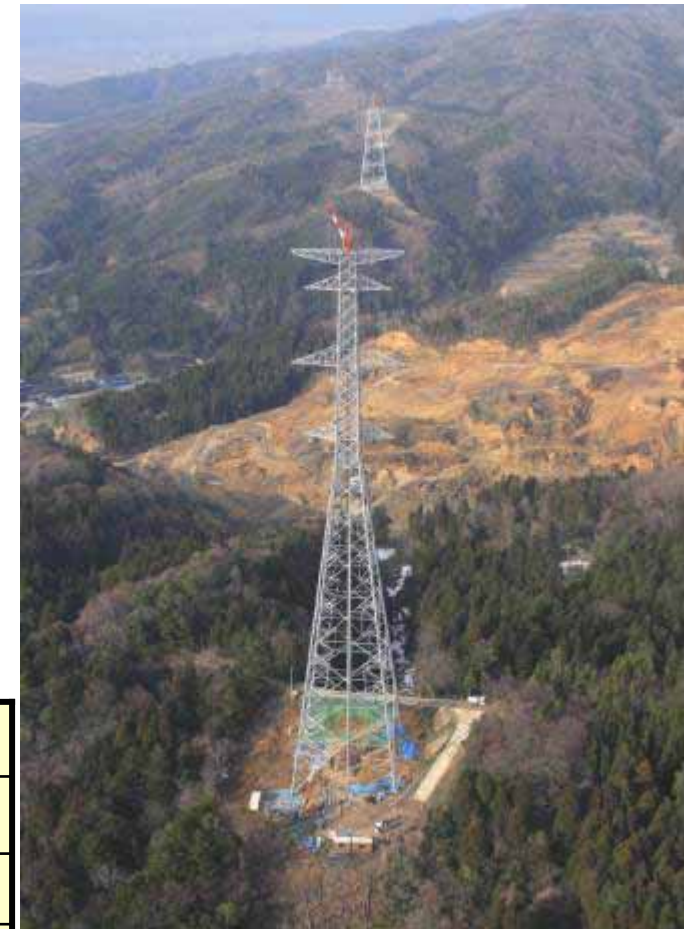


# 北陸の基盤系統の完備（能登幹線復旧工事の確実な実施）

## ➤ 復旧工事の状況

- ・ 今回の地すべり地を避けて，安定した新設鉄塔位置を選定
- ・ 長径間，高鉄塔の採用により鉄塔基数が減  
（6基撤去 4基建設）

架線工事こう長	約4 km	
基数	新設3基	建替1基
工事費	約35億円	
工期	2005年11月～2006年6月	
進捗状況	66%（2006年4月末） <b>6月中に運用再開予定</b>	



## < 復旧工事進捗状況 >

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
基礎工事	←————→				2月末終了			
組立工事		←————→				4月上旬終了		
架線工事						←————→		

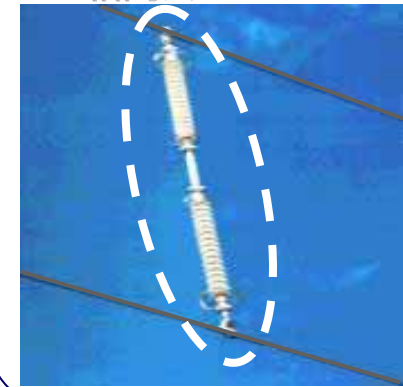


## 雪害対策の実施

### ➤ 昨年12月の大雪による主な被害状況

設備被害	送電線鉄塔の損傷	6基
	電柱の折損等	約200本
	送配電線の断線等	約1,000本
停電被害	延べ 約12万2千戸	

< 相間スペーサ >



### ➤ 再発防止対策工事の概要

送電設備	工事内容	事故が発生した送電線を中心に、相間スペーサまたはねじれ防止ダンパの設置範囲を拡大 <b>異常着雪による送電線の断線や鉄塔損壊を防止</b>
	期 間	'06 ~ '09年度 (4ヶ年)
	対策費用	約45億円 ('06年度: 15億円程度を予定)
配電設備	工事内容	架空ケーブル化や樹木伐採等の対策を強化 <b>倒木による配電線の断線等を防止</b>
	期 間	'05 ~ '08年度 (4ヶ年)
	対策費用	約20億円 ('06年度: 5億円程度を予定)

< 電線への異常着雪 >



< 樹木伐採対策の強化 >



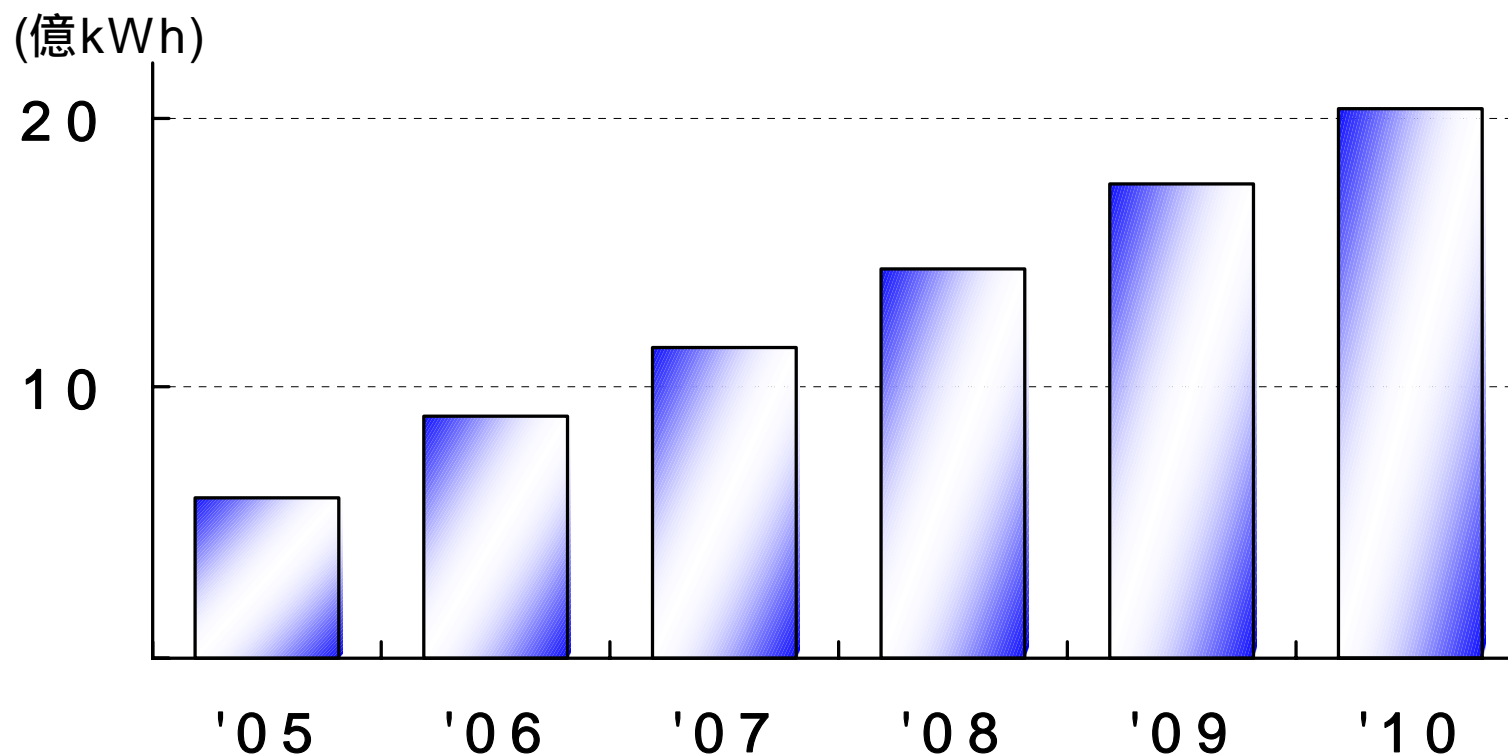
# 販売拡大に向けた取組み



## 「販売力ナンバーワン」への挑戦

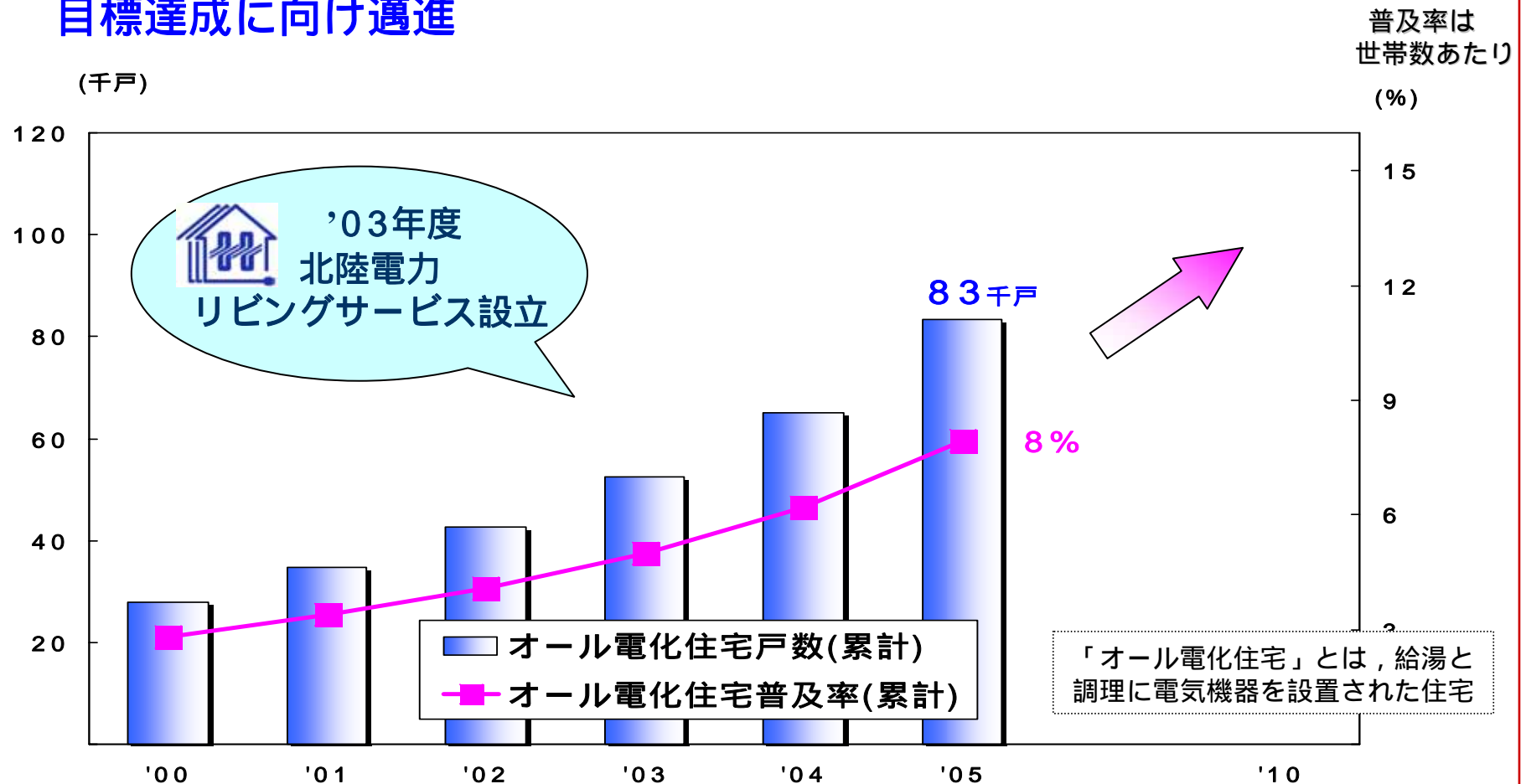
### 【販売拡大目標】

20億kWh以上の需要開発 <目標期間：2005～2010年度累計>



## エコキュートを中心に据えたオール電化住宅の普及拡大

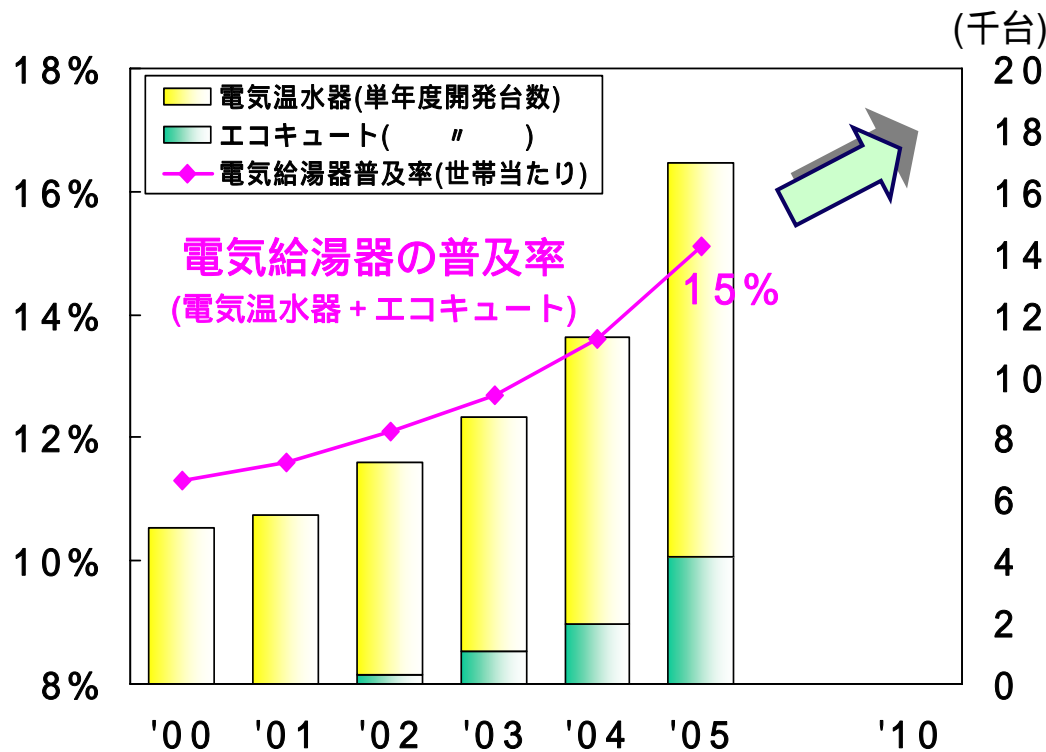
- 2005年度の新築戸建のオール電化導入率は60%を達成
- オール電化住宅は8万戸を突破，普及率は8%に達した
- 大手ハウスメーカーを含め管内3,000社とのネットワークで目標達成に向け邁進



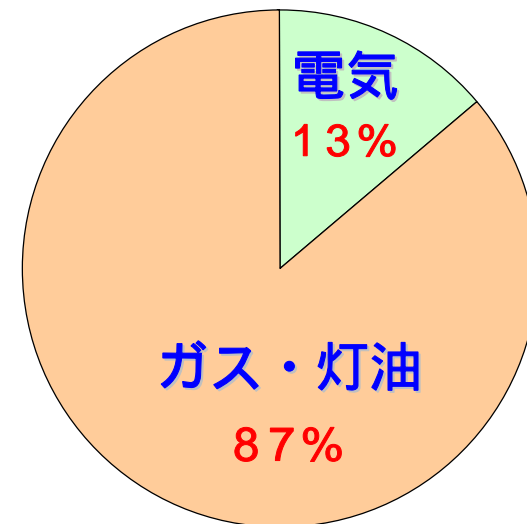
## エコキュートを中心に据えたオール電化住宅の普及拡大

➤ 家庭における給湯エネルギーの電化率は約13%

エコキュートを中心にオール電化住宅を拡大！



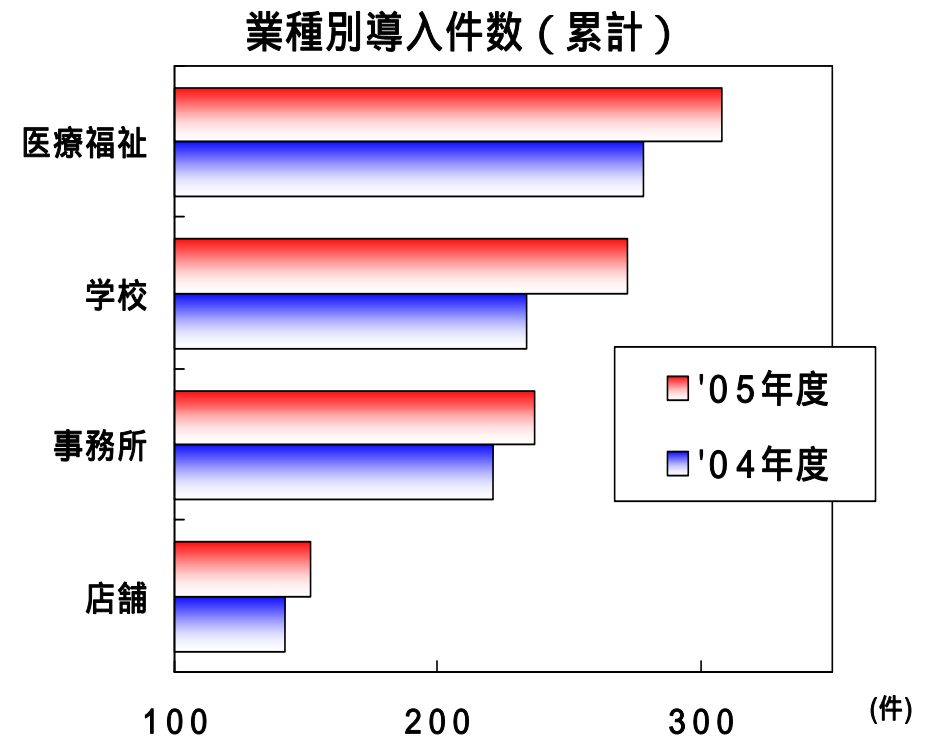
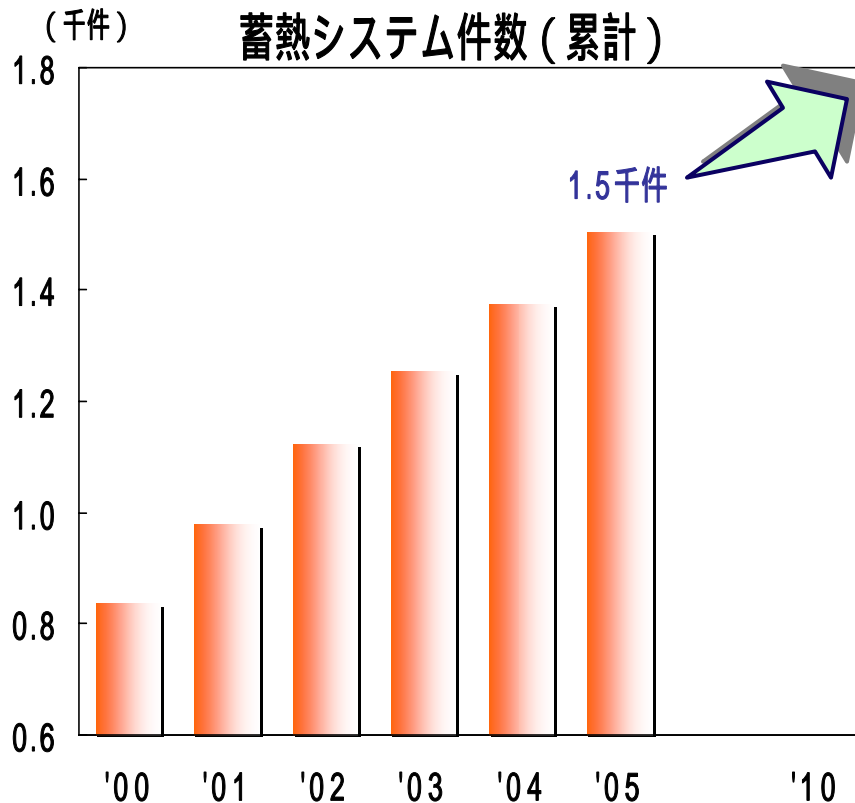
家庭における給湯  
エネルギーシェア(熱量ベース)



# 個別提案型技術営業の強化・充実

## (1) 空調の積極的な電化推進

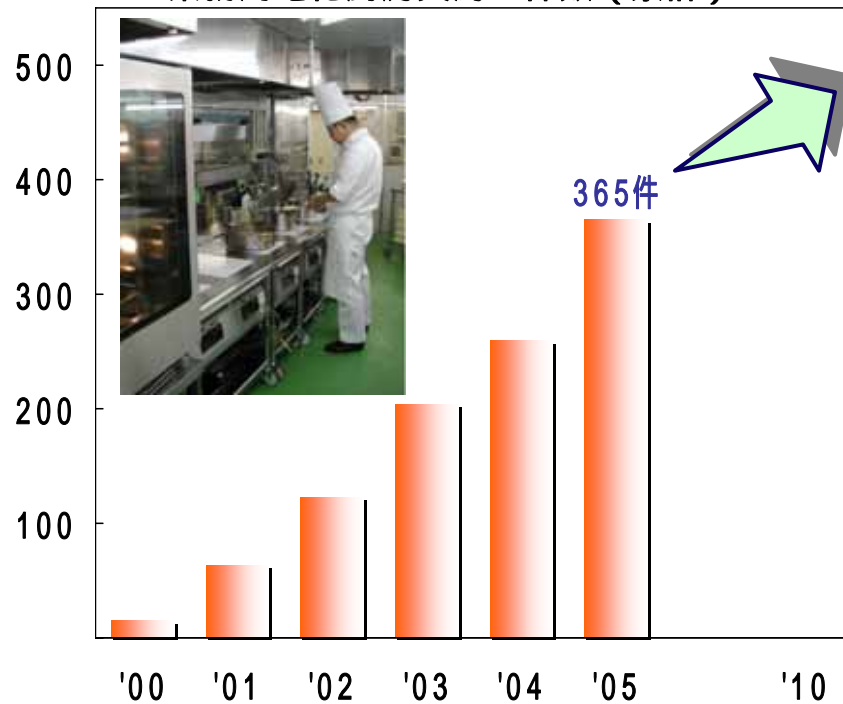
- 医療・福祉施設，学校では，室内をムラなく快適に暖房できる蓄熱式暖房を中心に件数が増加
- 事務所，店舗では，蓄熱システムの経済性が評価され，件数が増加



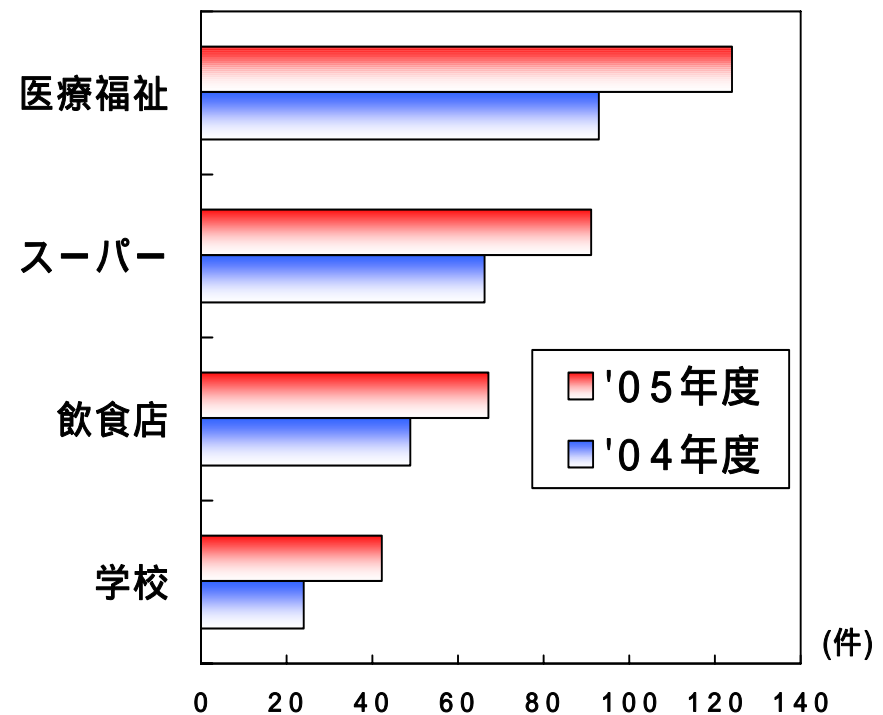
## 個別提案型技術営業の強化・充実 (2) 厨房の積極的な電化推進

- 衛生管理が確保できるので、医療・福祉施設，学校での採用が増加
- 時間管理，温度管理が容易で，料理のマニュアル化が可能になることから，飲食チェーン店，スーパーで採用が進展

(件) 業務用電化厨房契約の件数 (累計)



業種別導入件数 (累計)



# 料金値下げへの対応

## 電気料金値下げについて - 経営環境の見極め -

### ➤ 値下げにあたっての経営環境の見極め

#### 見極めのポイント

志賀原子力発電所の  
安全・安定運転の確認

北陸の基盤系統の完備  
[能登幹線の復旧]

2005年度収支

2006年度収支見通し

#### 実績・見通し

2006年3月15日営業運転開始

2006年6月中に復旧の見通し

連結経常利益315億円

利益目標：連結経常利益400億円  
以上を達成可能な見通し

◆ 2006年7月1日から，値下げ実施

# 経営目標・今後の資本政策



## 利益・財務改善目標 2006年度見通し

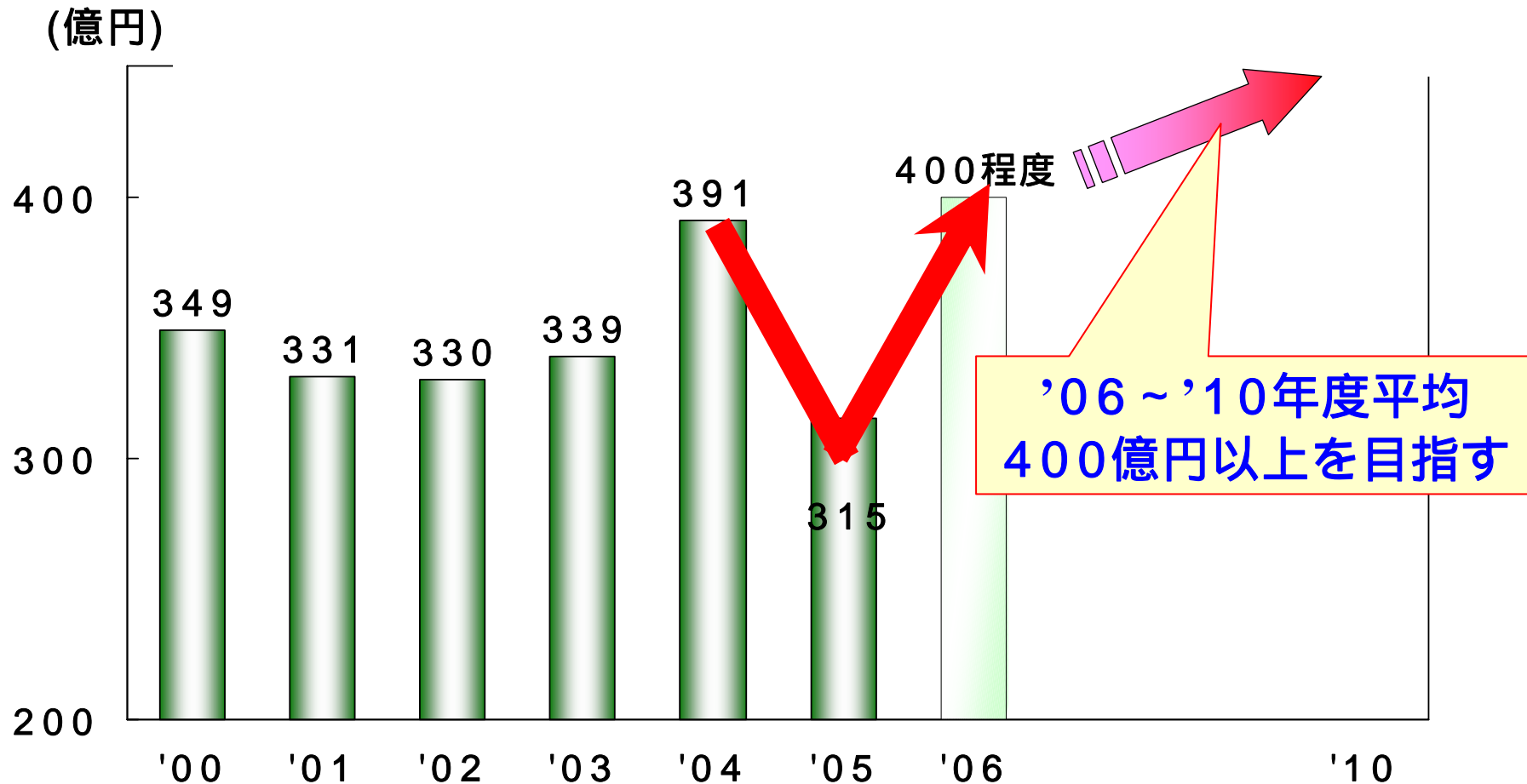
◇ グループ全体としての持続的な成長・発展の観点から、  
連結ベースでの目標を設定

目 標	2006～2010年度平均	2006年度見通し	2005年度実績
連結経常利益	400億円以上	400億円程度	315億円
連結ROA	3%以上	2.7%程度	2.2%
連結 有利子負債残高	6,500億円以下 <2010年度まで>	9,300億円程度	9,871億円
連結 株主資本比率	30%以上 <2010年度まで>	24%程度	23.6%

\*ROA(総資産営業利益率)：税引後営業利益 / 総資産

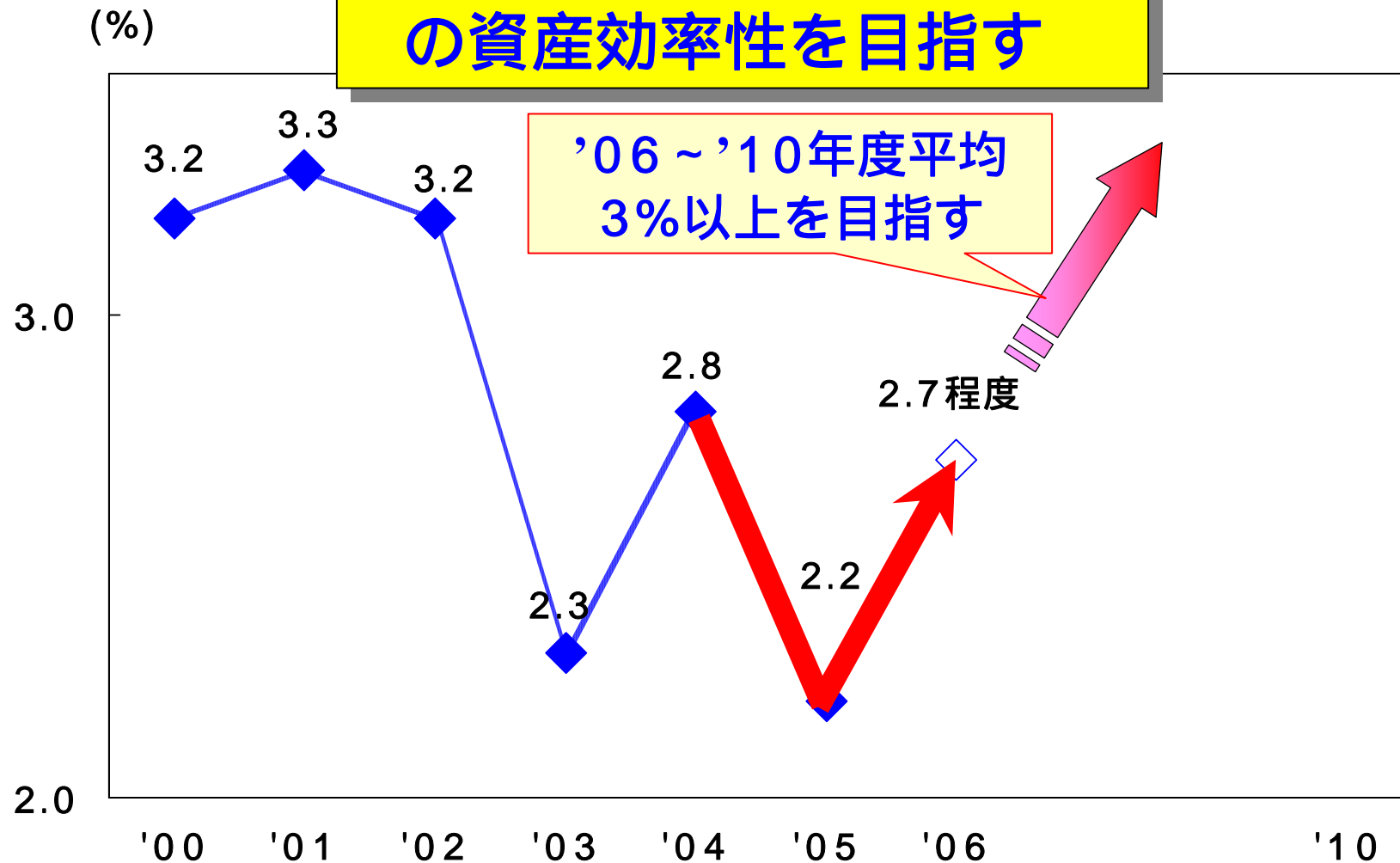
## 連結経常利益の見通し

◇ 2006年度，V字回復を実現し，利益基盤の更なる強化を図る



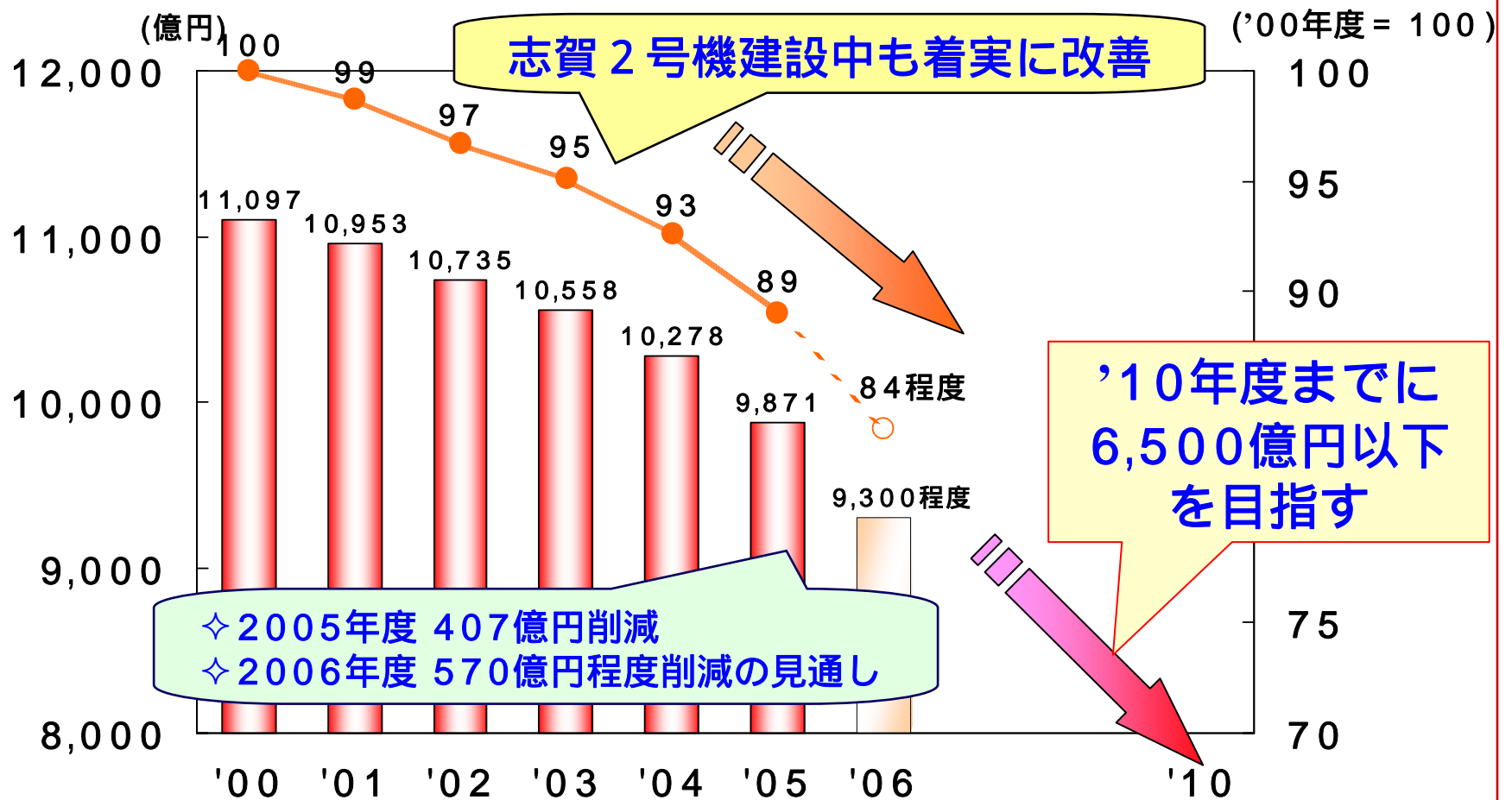
## 連結ROAの見通し

☆ 業界トップレベル  
の資産効率性を目指す



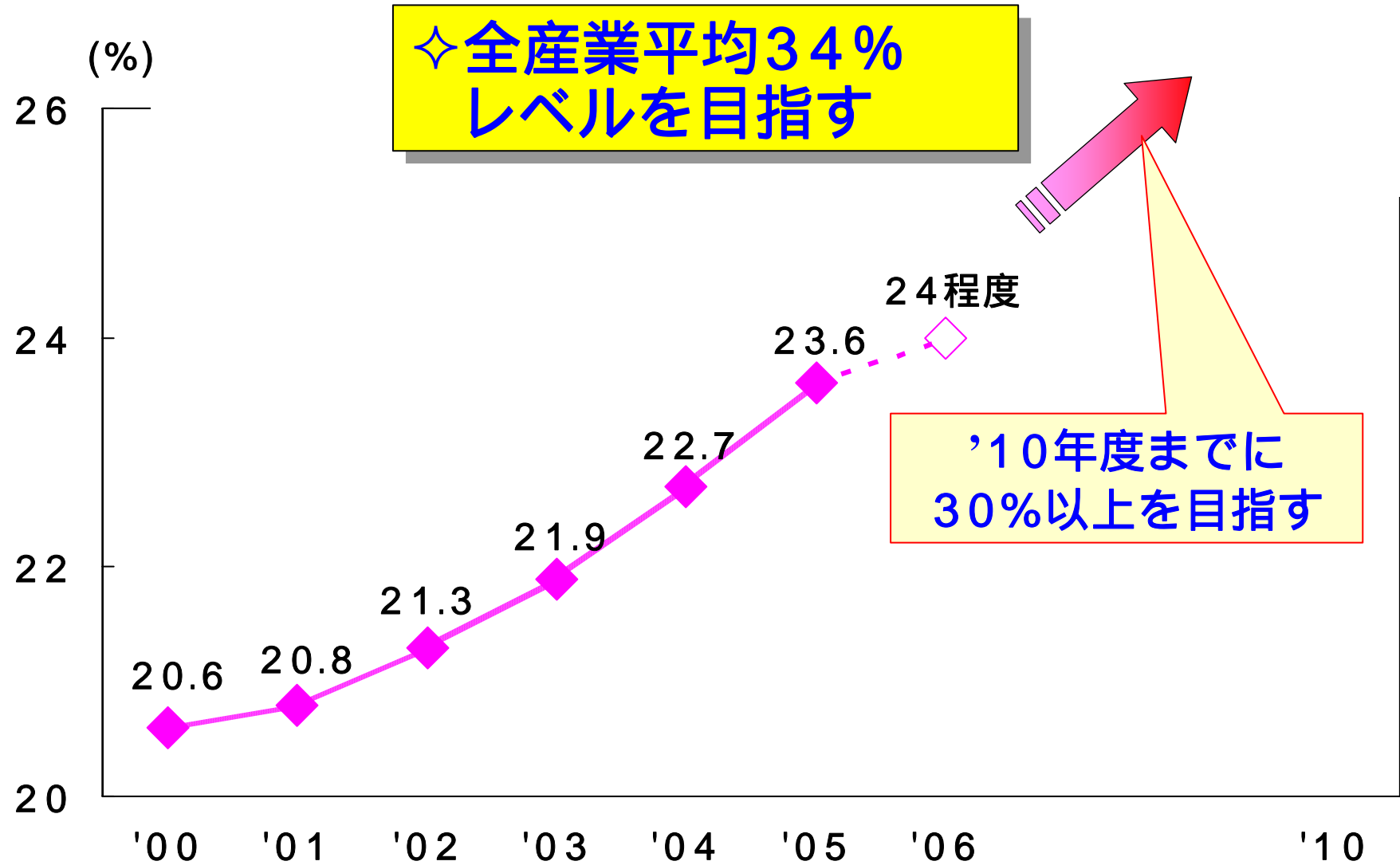
# 連結有利子負債残高の見通し

◇ フリーキャッシュフローを優先的に投入し、  
負債削減をスピードアップ



◇ 2005年度 407億円削減  
◇ 2006年度 570億円程度削減の見通し

## 連結株主資本比率の見通し



☆全産業平均34%  
レベルを目指す

'10年度までに  
30%以上を目指す

# 今後の資本政策

## 今後5年間('06~'10年度)のキャッシュフローの使途

電気事業関連への経営資源の集中

**株主価値向上**

自己株式取得  
配当

**価格競争力  
強化**

料金値下げ

**環境先進企業  
への取組み**

新エネ等

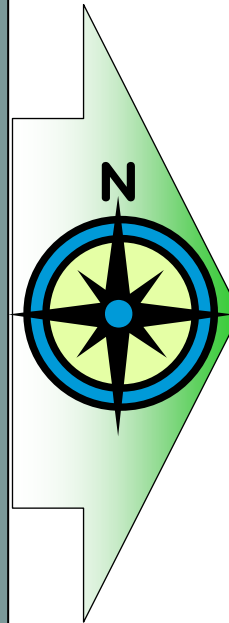
**戦略的活用**

**財務体質強化**

有利子負債削減

**安定供給確保**

系統強化等 設備投資



強靱なグループ経営基盤の構築

# 決算詳細説明

# 2005年度決算

- ・ 2005年度決算の概要
- ・ 2006年度業績予想



・2005年度決算の概要（個別）

## 販売電力量

- 厳冬により暖房需要が増加したことに加えて、景気の回復傾向により産業用が堅調に推移

(億kWh,%)

		2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)	
需要以外	特定規模	電 灯	75.1	71.5	3.6	104.9
	特定規模	電 力	17.2	17.2	0.0	100.2
		電灯電力計	92.3	88.7	3.6	104.0
需要	特定規模	業 務 用	50.2	48.0	2.2	104.7
	特定規模	産 業 用	137.2	132.0	5.2	103.9
		特定規模需要計	187.4	180.0	7.4	104.1
販売電力量合計		279.7	268.7	11.0	104.1	

2005年4月以降の特定規模需要区分に集約し直して表示

(再掲)大口電力	106.7	101.5	5.2	105.1
----------	-------	-------	-----	-------

・2005年度決算の概要（個別）

## 発電電力量

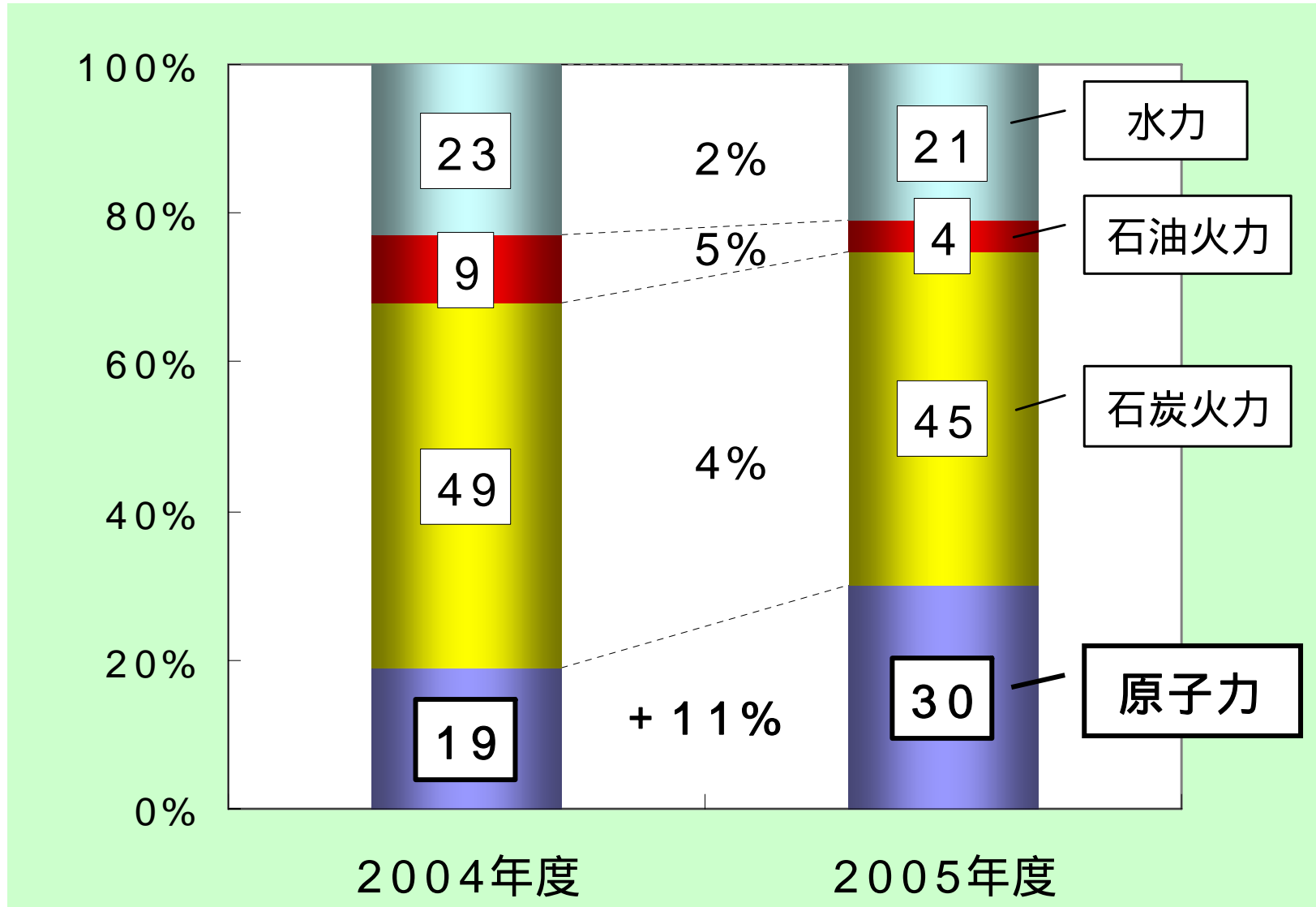
▶ 志賀原子力発電所 2号機の発電開始による原子力発電量の増加(約42億kWh増)と、これに伴う火力発電量の減少(約18億kWh減)

(億kWh,%)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
[出水率]	[95.9]	[107.7]	[ 11.8]	-
水 力	59.0	61.0	2.0	96.8
火 力	190.2	208.4	18.2	91.3
[設備利用率]	[88.7]	[79.8]	[8.9]	-
原 子 力	79.6	37.8	41.8	210.7
自 社 計	328.8	307.2	21.6	107.0
他 社 受 電	58.3	56.5	1.8	103.1
融 通	76.1	65.6	10.5	116.0
合 計	310.7	297.6	13.1	104.4

原子力設備利用率は、志賀2号機試運転分を除いて算定。  
 (注) 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

# ・ 2005年度決算の概要（個別） 発電電力量 構成比



他社受電含む

・2005年度決算の概要（個別）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

# 収支概要

➤12年ぶりの増収減益決算

(億円,%)

		2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
経常 収益	電料	1,497	1,487	10	100.7
	電力料	2,525	2,515	10	100.4
	(小計)	(4,023)	(4,002)	(20)	(100.5)
	地帯間・他社販売電力料	589	517	71	113.9
	(売上高)	(4,672)	(4,583)	(88)	(101.9)
	収益計	4,699	4,609	90	102.0
経常 費用	人件費	481	694	212	69.3
	燃修繕費	679	632	47	107.5
	減価償却費	337	464	126	72.8
	購入電料	1,268	705	563	179.8
	支店公租	421	543	121	77.6
	そのほかの費用	238	298	59	80.0
		351	322	29	109.0
		628	575	52	109.1
	費用計	4,408	4,236	171	104.1
(営業利益)		(522)	(673)	(150)	(77.6)
経常利益		291	373	81	78.1
当期純利益		185	241	56	76.6
[EPS]		[84円/株]	[109円/株]	[25円/株]	[77.2]

・ 2005年度決算の概要（個別）

## 電灯・電力料収入

➤ 昨年4月から実施した電気料金値下げ影響はあるが、廠  
冬影響などによる販売電力量の増加により増収

(億kWh, 億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
販売電力量	279.7	268.7	11.0
電灯・電力料収入	4,023	4,002	20
（電灯料）	(1,497)	(1,487)	(10)
（電力料）	(2,525)	(2,515)	(10)

(主な内訳)

- ・ 料金値下げ           160億円程度
- ・ 販売電力量増   + 160億円程度

・ 2005年度決算の概要（個別）

## 地帯間・他社販売電力料

➤ 原子力融通の開始などから増収

(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
地帯間・他社販売電力料	589	517	71

(参考)

(億kWh)

融通電力量	76.1	65.6	10.5
-------	------	------	------

融通送電量（ ）と受電量の差引で記載。

・ 2005年度決算の概要（個別）

こたえていく。かなえていく。— 北陸電力

## 人件費・・・退職給与金減による減少

➤ 年金制度再構築に伴う費用減や、退職給付債務の償却額の減などから減少

(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
人 件 費	481	694	212

(主な内訳)

退職給与金	56	198	141
(うち 数理差異償却)	(15)	(77)	( 62)
〔 既積立分償却 〔05年度から10年償却〕 〕	( 13)	(-)	( 13)
〔 確定拠出年金 〔移行に伴う終了益〕 〕	( 11)	(-)	( 11)
給料手当等	425	496	71

(参考)

(人)

期末在籍人員	4,692	4,752	60
--------	-------	-------	----

・ 2005年度決算の概要（個別）

## 燃料費・・・火力燃料単価の上昇などによる増加

➤ 石炭及び原油価格上昇に伴う火力燃料単価の上昇により増加  
(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
燃 料 費	679	632	47

(内訳)

火力燃料	614	593	21
核燃料	64	38	26

(差異計 47億円の内訳)

・ 火力燃料 21億円

    量 差 110億円程度

    単価差 130億円程度

        ( CIF差 120程度[石炭70程度、石油50程度]

        為替差等 10程度 )

・ 核燃料 26億円 (原子力発電量の増加)



・ 2005年度決算の概要（個別）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

## 修繕費・・・火力・原子力修繕費の減少などによる減少

➤ 火力・原子力発電所の定期検査時期の違いなどから減少

(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	差引 (A)-(B)
修 繕 費	337	464	126

(主な内訳)

水 力	37	70	32
火 力	93	150	57
原 子 力	13	52	39

・ 2005年度決算の概要（個別）

## 減価償却費・・・志賀原子力発電所2号機の償却発生

➤ 発電開始(H17/7)に伴う試運転償却・特別償却などの増加

(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
減価償却費	1,268	705	563

(主な内訳)

志賀原子力2号機	579	-	579
（うち試運転償却費）	(322)	(-)	(322)
（　〃　特別償却費）	(216)	(-)	(216)
（　〃　普通償却費）	(41)	(-)	(41)
その他大型電源	282	328	46
能越幹線	32	-	32
地役権償却	17	-	17

・ 2005年度決算の概要（個別）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

## 購入電力料・・・主に他社購入電力料の減による減少

➤ 他社原子力発電所の設備関連費減などから減少

(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
購入電力料	421	543	121

(内訳)

地帯間購入電力料	8	50	41
他社購入電力料	412	493	80
（うち水力）	(187)	(212)	(24)
（火力）	(19)	(20)	(1)
（原子力）	(194)	(252)	(58)

・ 2005年度決算の概要（個別）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

## 支払利息・・・引き続き後年度負担の軽減策を実施

➤ 金利の低下や、ディフィーゼンス等の実施差などによる減少

(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
支払利息	238	298	59
(期末金利)	(1.68%)	(1.77%)	( 0.09%)

(内 訳)

- ・ ディフィーゼンス等実施差 21億円
- ・ 金利差 26億円
- ・ 積数差 12億円

・ 2005年度決算の概要（個別）

## その他費用・・・能登幹線鉄塔倒壊影響などによる増加

- 能登幹線鉄塔倒壊による被災設備の撤去費用や、志賀原子力発電所2号機の発電開始に伴う関連費用の計上

(億円)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
その他費用	628	575	52

(主な内訳)

- ・ 能登幹線鉄塔倒壊被災設備撤去費用 15億円程度
- ・ 志賀2号機関連費用 50億円程度

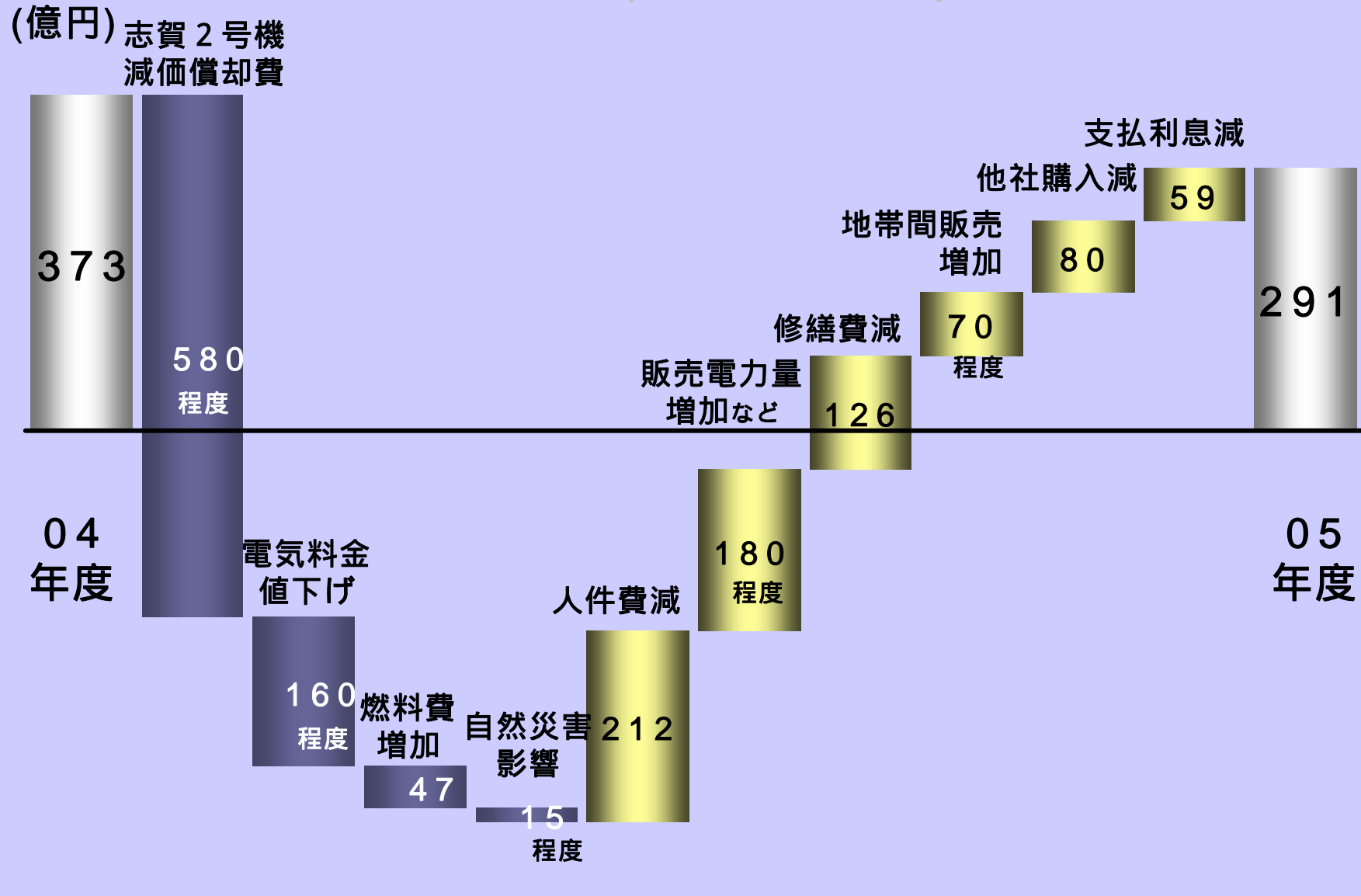
## 災害状況・・・事故・自然災害等による影響額

- 能登幹線鉄塔倒壊や雪害復旧工事による費用増加はあるが、経営全般にわたる効率化推進などにより経常利益の確保を図る

		影響額	内 訳
05 年 度	能登幹線鉄塔倒壊 (2005.4.1)	30億円程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川県羽咋市福水(ふくみず)町地内被災設備の撤去費用 15億円程度</li> <li>志賀1号停止による火力燃料増 10億円程度 (4.2～4.24)</li> <li>その他 5億円程度</li> </ul>
	雪害	15億円程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸地方全域</li> <li>大雪・雷害により、送変配電設備を中心に甚大な被害</li> </ul>
04 年 度	集中豪雨 (2004.7.17～19)	20億円程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井県嶺北地方および富山県東部山間部</li> <li>水力発電所・変電所の浸水、鉄塔・電柱の損壊、配電線の断線等の設備被害</li> </ul>
	台風23号 (2004.10.20)	10億円強	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県神通川水系</li> <li>水力発電所の浸水、ダムの流れ木被害、電柱の折損、配電線の断線等の設備被害</li> </ul>

・ 2005年度決算の概要（個別）

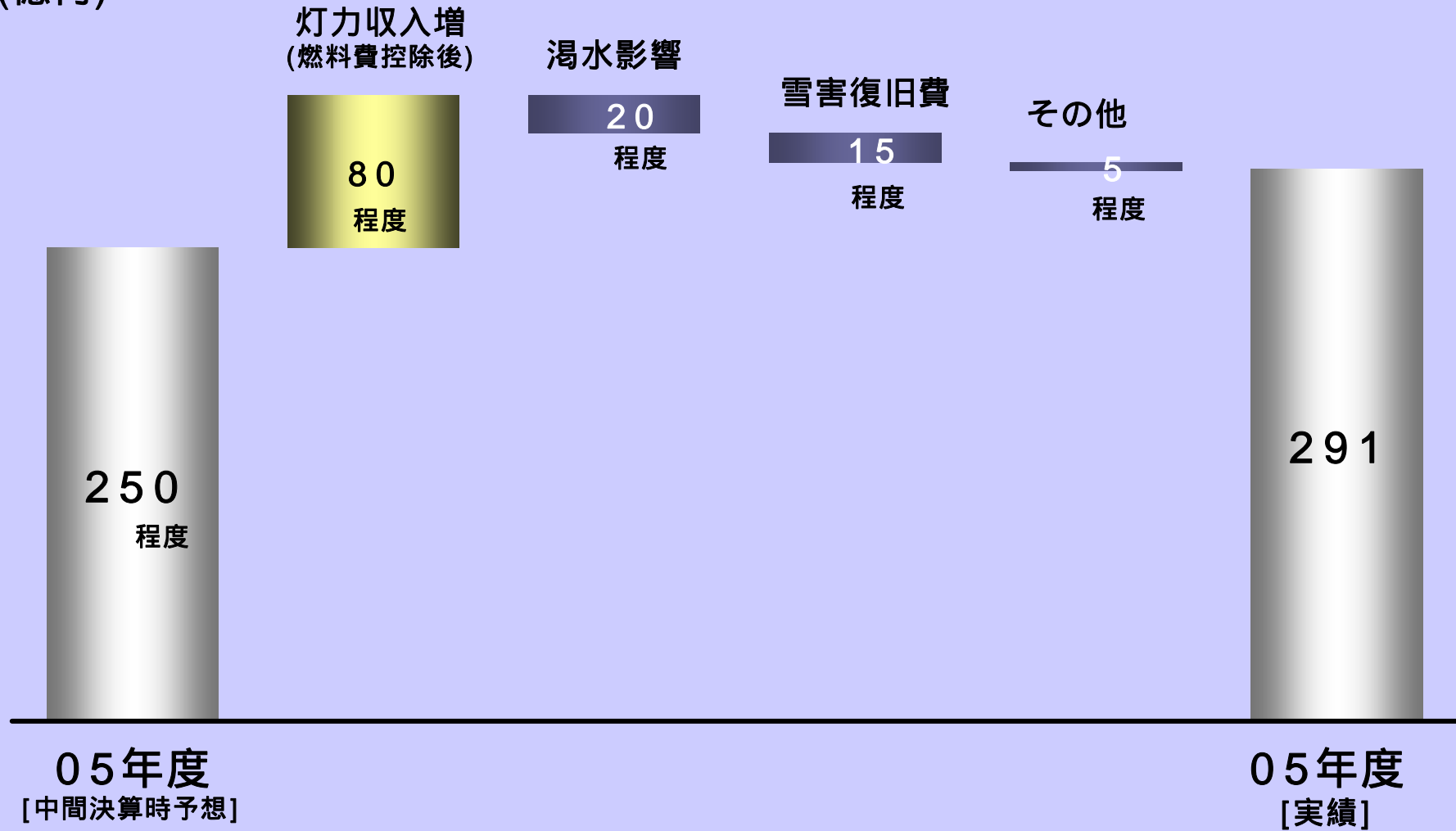
# 経常利益の変動要因(前年度対比)



・ 2005年度決算の概要（個別）

# 経常利益の変動要因(中間決算時見通し対比)

(億円)





・2005年度決算の概要（個別）

# 貸借対照表（要旨）

➤自己資本比率 23.6% (対前年度末比 + 0.8%)

2006年3月31日現在

(億円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
科 目	05年度末 (A)	04年度末 (B)	増 減 (A)-(B)	科 目	05年度末 (A)	04年度末 (B)	増 減 (A)-(B)
固定資産	14,436	14,852	415	固定負債	9,011	9,934	923
電気事業固定資産	11,948	8,972	2,975	流動負債	2,621	1,995	625
建設仮勘定	215	3,784	3,568	負債合計	11,724	12,026	302
その他	2,272	2,095	176	(有利子負債再掲)	(9,635)	(10,012)	( 376)
流動資産	917	726	190	資本金	1,176	1,176	-
				資本剰余金	339	339	-
				利益剰余金	2,003	1,928	74
				株式等評価差額金	202	116	86
				自己株式	92	8	84
				資本合計	3,629	3,553	76
				[自己資本比率]	[23.6%]	[22.8%]	[0.8%]
合 計	15,353	15,579	225	合 計	15,353	15,579	225

・2005年度決算の概要（個別）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

# 貸借対照表（資産の部）

（億円）

資 産 の 部				増 減 内 訳
科 目	05年度末 (A)	04年度末 (B)	増 減 (A)-(B)	
固定資産	14,436	14,852	415	
電気事業固定資産	11,948	8,972	2,975	設備竣工4,262(志賀2号機3,700,能越幹線431) 他 減価償却 1,269,
建設仮勘定	215	3,784	3,568	志賀2号機 3,147(設備計上 3,700) 能越幹線 429(設備計上 431)
その他	2,272	2,095	176	使用済燃料再処理等積立金160
流動資産	917	726	190	
合 計	15,353	15,579	225	

・2005年度決算の概要（個別）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

## 貸借対照表（負債及び資本の部）

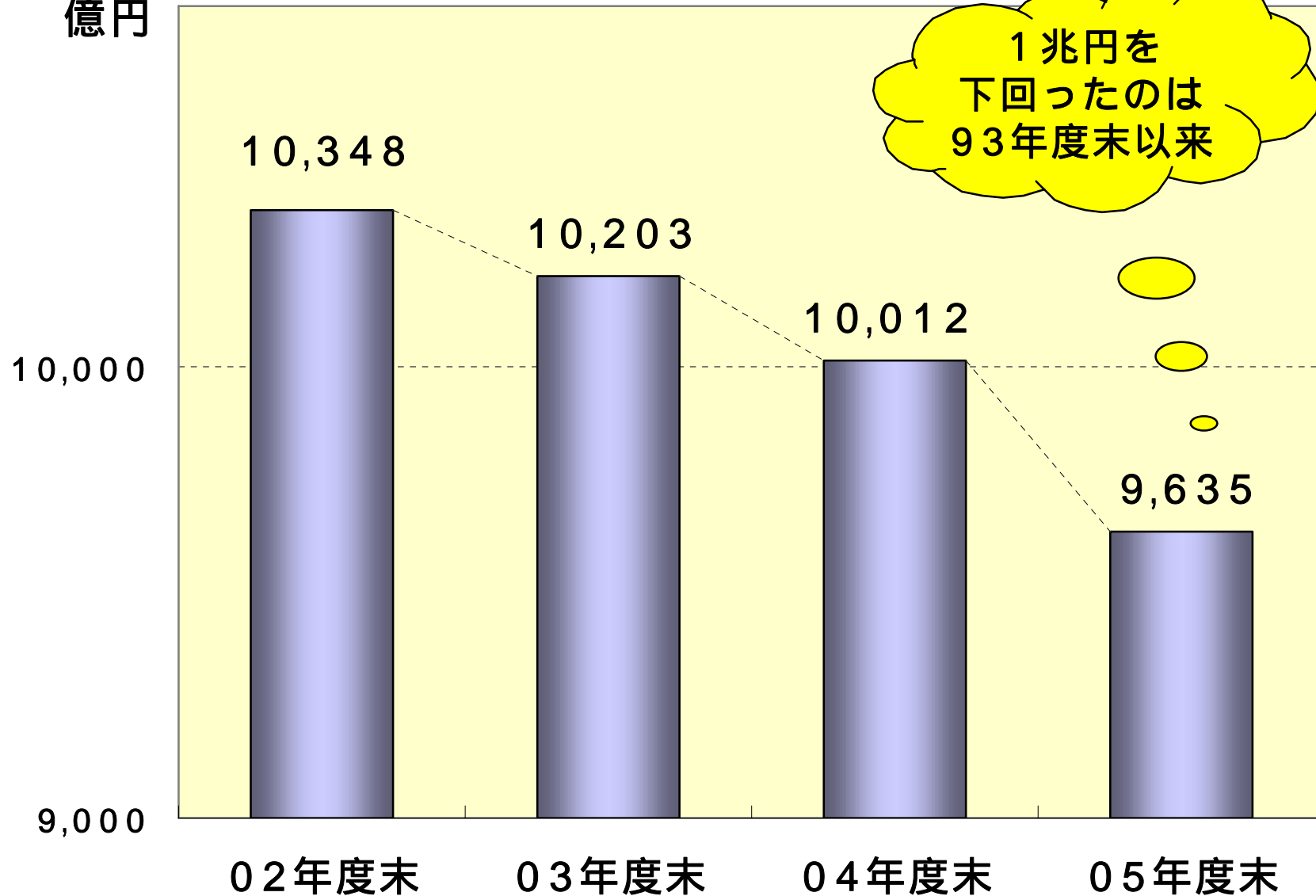
（億円）

負債及び資本の部				増減内訳
科目	05年度末 (A)	04年度末 (B)	増減 (A)-(B)	
固定負債	9,011	9,934	923	社債 596, 退職給付引当金 226 他
流動負債	2,621	1,995	625	1年以内固定負債654
<b>負債合計</b> (有利子負債再掲)	<b>11,724</b> <b>(9,635)</b>	<b>12,026</b> <b>(10,012)</b>	<b>302</b> <b>( 376)</b>	
資本金	1,176	1,176	-	
資本剰余金	339	339	-	
利益剰余金	2,003	1,928	74	当期純利益185, 配当金等 110 他
株式等評価差額金	202	116	86	
自己株式	92	8	84	
<b>資本合計</b>	<b>3,629</b>	<b>3,553</b>	<b>76</b>	
[自己資本比率]	[23.6%]	[22.8%]	[0.8%]	
<b>合計</b>	<b>15,353</b>	<b>15,579</b>	<b>225</b>	

・2005年度決算の概要（個別）

# 有利子負債残高の推移

億円



・2005年度決算の概要（連結）

## 収支概要（連結）

(億kWh,億円,%)

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
売上高	4,808	4,709	99	102.1
経常収益	4,840	4,737	102	102.2
経常費用	4,524	4,346	177	104.1
(営業利益)	(551)	(705)	( 154)	(78.2)
経常利益	315	391	75	80.6
当期純利益	199	251	51	79.3
[ E P S ]	[91円/株]	[114円/株]	[ 23円/株]	[80.0]

<連結対象会社数>

- ・子会社11社
- ・持分法適用会社3社

(注) 売上高のうち電気事業の占める割合は 96.9%

・2005年度決算の概要（連結）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

## 連結貸借対照表（要旨）

2006年3月31日現在

(億円)

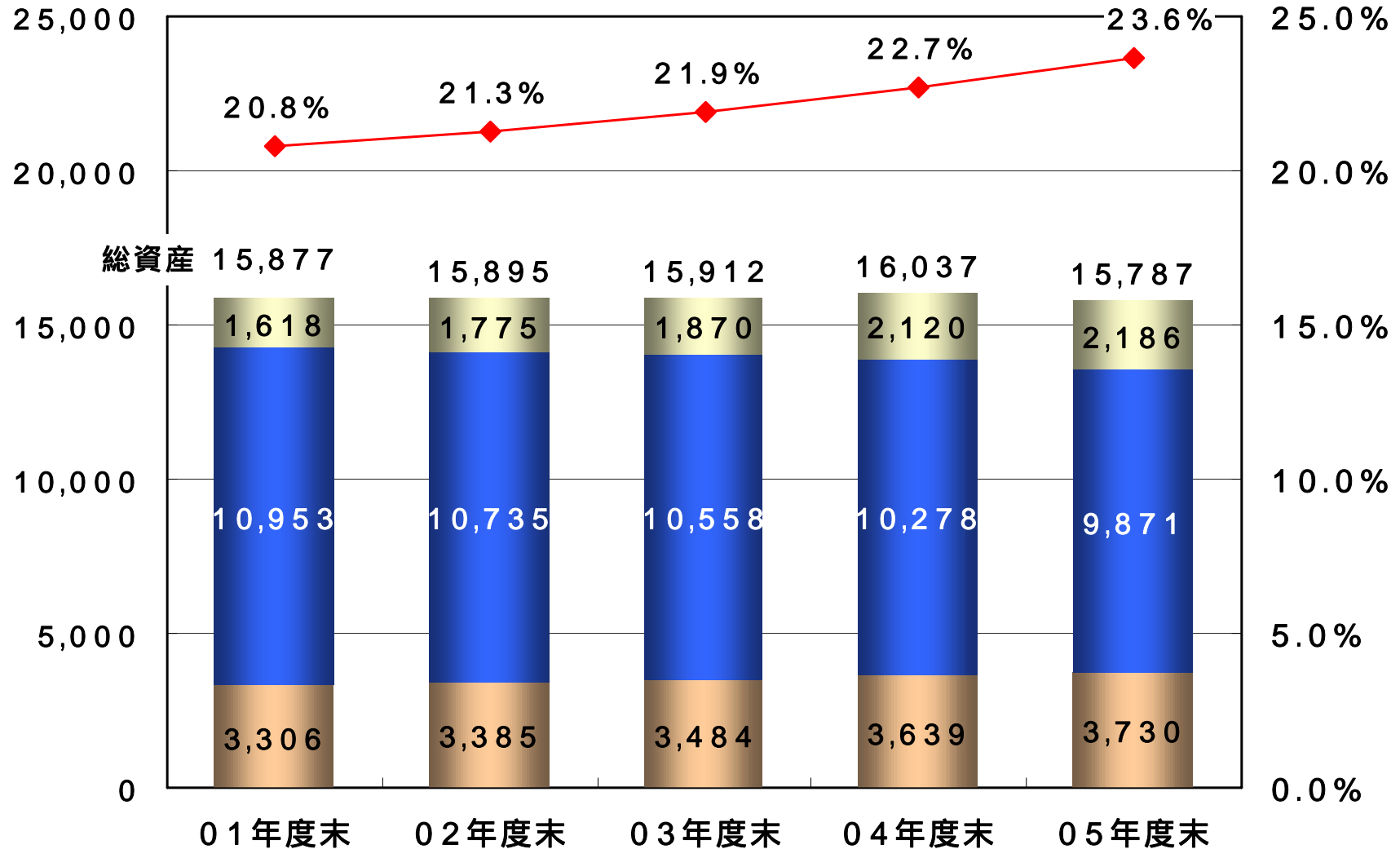
資 産 の 部				負債、少数株主持分及び資本の部			
科 目	05年度末 (A)	04年度末 (B)	増 減 (A)-(B)	科 目	05年度末 (A)	04年度末 (B)	増 減 (A)-(B)
固 定 資 産	14,799	15,242	442	固 定 負 債	9,258	10,227	968
電気事業固定資産	12,008	9,043	2,964	流 動 負 債	2,690	2,054	636
その他の固定資産	377	417	39	湯水準備引当金	92	97	5
建設仮勘定	235	3,781	3,545	<b>負債計</b>	<b>12,042</b>	12,379	<b>337</b>
そ の 他	2,177	1,999	178	(有利子負債再掲)	(9,871)	(10,278)	( 407)
流 動 資 産	987	794	192	少数株主持分	14	18	4
				<b>資本計</b>	<b>3,730</b>	3,639	<b>91</b>
				[自己資本比率]	[23.6%]	[22.7%]	[0.9%]
<b>合 計</b>	<b>15,787</b>	16,037	<b>249</b>	<b>合 計</b>	<b>15,787</b>	16,037	<b>249</b>

・ 2005年度決算の概要（連結）

# 財政状態の推移

(億円)

■ 自己資本 ■ 有利子負債 ■ 引当金等 ◆ 自己資本比率



・2005年度決算の概要（連結）

こたえていく。かなえていく。—北陸電力

## 連結キャッシュ・フロー計算書

（億円）

	2005年度 (A)	2004年度 (B)	増減 (A)-(B)
・営業活動によるキャッシュ・フロー	1,179	1,239	60
税金等調整前当期純利益	320	391	70
減価償却費	1,324	762	562
その他	465	86	552
・投資活動によるキャッシュ・フロー	555	707	152
設備投資	572	748	175
長期投資その他	17	41	23
・財務活動によるキャッシュ・フロー	600	393	207
社債・借入金等	407	279	128
自己株式の取得	84	3	80
配当金支払額	109	110	0
・現預金増減額（　＋　＋　）	23	138	115
フリー・キャッシュ・フロー	514	421	92
(参考:個別フリー・キャッシュ・フロー)	(485)	(361)	(124)



・ 2006年度業績予想

# 収支諸元

## 【販売電力量】

➤ 前年度の猛暑・厳冬の反動などから、前年度比3%程度の減少  
(億kWh)

	2006年度 予 想(A)	2005年度 実 績(B)	増 減 (A)-(B)
販売電力量	272 程度 (97%程度)	279.7 (104.1%)	8 程度

\* ( )内は前年度対比

## 【主要諸元】

(円/\$, \$/b, %)

為 替レ-ト	117 程度	113.3	3.7 程度
全日本原油CIF	60 程度	55.8	4.2 程度
出 水 率	100	95.9	4.1
原子力利用率	90.2	88.7	1.5

・2006年度業績予想（連結）

## 収支見通し（連結）

➤電気事業における火力・原子力発電所定検増の影響はあるが、グループの総力を結集し、連結経常利益400億円程度を確保  
(億円)

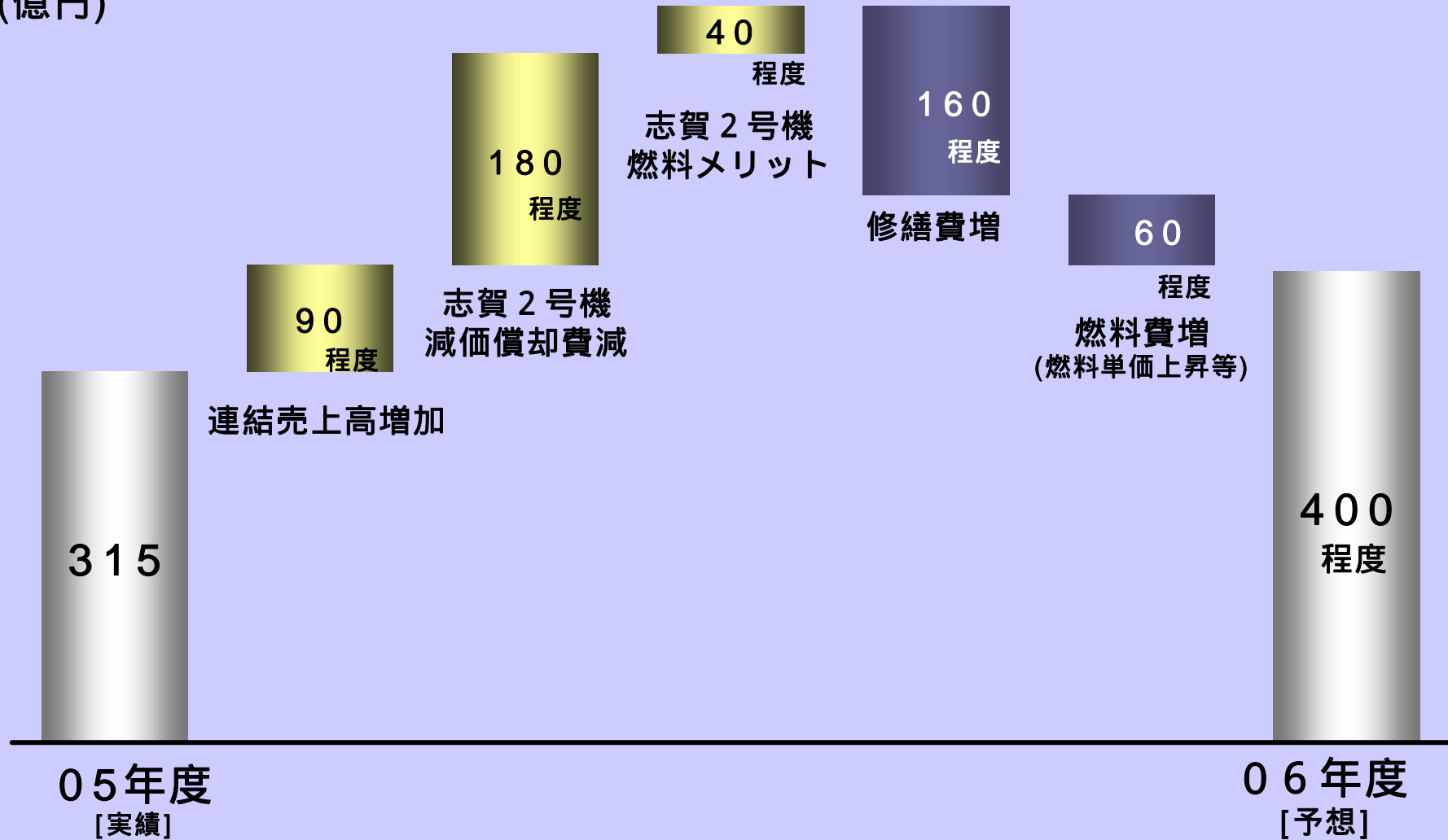
	2006年度 予 想(A)	2005年度 実 績(B)	増 減 (A) - (B)
売 上 高	4,900 程度 (102%程度)	4,808 (102.1%)	90 程度
経常利益	400 程度 (127%程度)	315 (80.6%)	85 程度
当期純利益	240 程度 (120%程度)	199 (79.3%)	40 程度
[E P S]	[112円/株程度]	[91円/株]	[21円/株程度]
営 業 利 益	650 程度 (118%程度)	551 (78.2%)	100 程度

\* ( )内は前年度対比

・ 2006年度業績予想（連結）

# 経常利益の変動要因(前年度対比)

(億円)



・2006年度業績予想（個別）

## 収支見通し（個別）

➤連結同様、増収増益を見込む

(億円)

	2006年度 予 想(A)	2005年度 実 績(B)	増 減 (A) - (B)
売 上 高	4,800 程度 (103%程度)	4,672 (101.9%)	130 程度
経 常 利 益	390 程度 (134%程度)	291 (78.1%)	100 程度
当期純利益	230 程度 (124%程度)	185 (76.6%)	45 程度
[E P S]	[107円/株程度]	[84円/株]	[23円/株程度]
営 業 利 益	630 程度 (121%程度)	522 (77.6%)	110 程度

\* ( )内は前年度対比

・ 2006年度業績予想（個別）

# 項目別増減見通し(前年度対比)

(億円)

項目		2006年度見通し		2005年度 実績
収 益	電灯・電力料	減少	前年度の猛暑・厳冬の反動影響などによる販売電力量の減少や料金値下げの影響などのため、減収の見込み	4,023
	地帯間・他社 販売電力料	増加	原子力融通が通期での送電となることなどのため、増収の見込み	589
費 用	人件費	前年度 並み	ほぼ前年度並みの見込み	481
	燃料費	前年度 並み	志賀原子力発電所2号機運開により火力発電量比率は減少するが、火力燃料単価の上昇などのため、ほぼ前年度並みの見込み	679
	修繕費	増加	火力・原子力発電所の定期検査台数の増加などのため、160億円程度増加の見込み	337
	減価償却費	減少	志賀原子力発電所2号機をはじめとする大型電源の償却進行などにより、200億円強減少の見込み	1,268
	購入電力料	前年度 並み	ほぼ前年度並みの見込み	421
	支払利息	減少	有利子負債残高の減少などにより、20億円程度減少の見込み	238
	その他費用	やや増加	前年度をやや上回る	980

- ・本資料に記載されている業績予想は、2006年5月現在における情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を伴う将来に関する予想であります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。
- ・本資料は、あくまで当社の経営内容に関する情報の提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・内容につきましては、細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではなく、記載された情報の誤りおよび本資料に記載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

#### お問い合わせ先

北陸電力株式会社 経理部 財務チーム

〒930-8686 富山市牛島町15番1号

TEL : 076-405-3335, 3338 (ダイヤルイン)

FAX : 076-405-0127



# 北陸電力株式会社

インターネットホームページの当社アドレス <http://www.rikuden.co.jp/>